

講義名	対)19～日本語D（話す）/15～日本語D【留学生科目】				
担当教員	尾崎 美千代				
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	演習		
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考	
主題と概要					
日本語の口頭表現の中で、この授業では「プレゼンテーション」を取り上げていきます。まず、問題提起としてニュースのDVDを視聴したあと、各自資料を調べて発表します。プレゼンテーション能力を高めるために必要な日本語表現を学んでいきます。また、質問者として必要な日本語表現も同時に習得していきます。					
到達目標					
各自、自分で調べてきた資料を、日本語で、聞いている人にどれだけ分かりやすく伝えることができるか、工夫をすることができるようになることを、目指します。					
提出課題					
各自発表用のレジュメを作成します。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック					
教師及び学生間で、課題発表及びレジュメについては、お互いに講評しあい、自省もしてもらいます。					
評価の基準					
出席率 20% 提出物 20% 発表 60%					
履修にあたっての注意・助言他					
出欠は、毎回とります。 5回以上欠席すると、単位取得を認めません。					

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
『日本語 口語発表と討論の技術 ―コミュニケーション・スピーチ・ディベートのために―』（東海大学留学生教育センター口頭発表教材研究会編） 『研究発表の方法－留学生のためのレポート作成・口頭発表の準備の手引き－』（凡人社）				
授業計画				
1. イントロダクション ・授業の進め方及びスケジュール、評価方法についての説明 ・自己アピール紹介 2発表準備（資料収集） ・DVD視聴 ・新聞記事読解 3. 同一テーマで発表 小発表 → 意見交換 4テーマ：「適中層」 メモを取る練習及び構成の確認。 5テーマ：「音楽と文化」 メモを取る練習及び構成の確認。 6. テーマ：「不登校」 メモを取る練習及び構成の確認 7. テーマ：「高校生とバイク」 メモを取る練習及び構成の確認 8. テーマ：「食料自給率」 メモを取る練習及び構成の確認 9. テーマ：「子供の生活習慣病」 メモを取る練習及び構成の確認 10. 同一テーマで発表 小発表 → 意見交換 11. テーマ：「少子化」 （レジュメの書き方） 12. テーマ：「少子化」 （レジュメの書き方） 13. テーマ：「少子化」 （レジュメの書き方） 14. 自由なテーマで各自発表（レジュメ） 15. 自由なテーマで各自発表（レジュメ）				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
☐	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
☐	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
【予習】小発表及び期末発表では、資料収集及びパワーポイント作成等、十分な準備をしてください。また、各テーマにおける、細かい語彙の意味などは、各自で調べておいてください。（3時間） 【復習】発表後の講評及びシラバス作成後のチェックをよく見て、シラバスの修正をします。（1時間）				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
大学学修生活に必要なスキルを学び、その成果をどのような構成で発表すればよいかを、学んでいきたいと思います。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
毎回、そのテーマについての各学生の意見を聞きつつ、ディスカッションを重ねながら、自分の考えを聞き出せるようにしていきます。				
実務経験の有無及び活用				
備考				